

1人1日の排出量300gをめざして

# ごみの減量にご協力お願いします!!

問 建設課 生活環境係 ☎62-9114

私たちが日々生活していくうえで、「ごみ問題」は避けて通れない問題の一つです。ごみの焼却に伴う温室効果ガス（二酸化炭素）の増大、ダイオキシン類の発生および資源の枯渇等は、地球環境の問題であるとともに私たち自身や子孫の問題です。ごみを減らす＝「ごみ減量の取り組み」は、環境への負荷を減らし、循環型社会を作るための重要な取り組みであり、喫緊の課題です。

町では、ごみの減量化を目指すため、平成22年度に「1人1日の排出量300g」の目標を持ち、ごみ減量の推進や分別収集の充実などの取り組みを行ってきました。（結果は381gで目標達成できませんでした）

今後も継続して300gの達成を目指しますが、この目標達成には、町民一人ひとりの努力の積み重ねが求められます。今後も、より一層のご理解とご協力をお願いします。



## ●平成24年度に家庭から出されたごみの量は、合計2,631t、町民1人当たり381gでした。

	年間総排出量 (H23) 2,606t	年間総排出量 (H24) 2,631t	比較	1人1日当たり	収集回数
可燃ごみ	2,098t	2,124t	1.2%増	381g	週2回
不燃ごみ	253t	252t	0.4%減	45g	週1回
粗大ごみ	255t	255t	増減なし	45g	年4回

## ●生ごみは自家処理しましょう。

町民の方が、ホームコンポストや電気生ごみ処理機等を購入した場合に補助を行っています。

	対象	限度額
ホームコンポスト	2基まで	なし
電気生ごみ処理機	1基	20,000円

補助金額:購入価格の1/2以内で、100円未満の端数切り捨て

【申請手続】 購入後に建設課生活環境係の窓口で手続きをお願いします。

【持ち物】 ①領収書またはレシート（購入品と購入日のわかるもの）  
②補助金の振込口座のわかるもの ③印鑑

## 産業用廃プラスチックの回収

問 JA信州諏訪富士見町営農センター ☎62-2157

産業廃棄物は、排出者が責任をもって適正な処理をするよう法律で定められています。農家の皆様の手助けとして回収処理を行いますので、ご利用ください。

- 日時 11月16日(土)午前9時～11時
- 場所 JA信州諏訪富士見町野菜集荷所
- 持ち物 ①印鑑 ※当日、委任状・排出業者（農家）の処理委託契約に、印鑑が必要です。印鑑がない場合、持ち込み（排出）ができないこともありますので、必ずお持ちください。  
②現金 ※回収費用は現金支払いですので、ご用意願います。 ③黒ボールペン

### ●回収するもの

#### ①農業用廃ビニールなどの資材

【対象】 被覆用ビニール／ポリフィルム／畦シート／マルチシート／ポリポット／肥料袋など

【回収費用】 1kgあたり50円（税込）

- 【注意事項】
- ・土砂、泥などはできる限り除去する・金属などの異物は絶対入れない
  - ・計量しやすいように1梱包は15～20kg程度にし、ビニール紐（縄紐は不可）でしっかり結束する
  - ・小さい資材は肥料袋に入れて縛る ・資材別に分別する

#### ②農薬の空き容器

【対象】 農薬のポリ容器、ポリ袋のみ ※農薬空きビン ・缶は回収しません。

【回収費用】 1袋1律300円（税込）

【注意事項】 ・指定の袋へ入れてください。（JAファームふじみ店にて10枚入り100円を購入してください）

#### ★次の処理を徹底

- ・空き容器は、必ず2回以上洗浄する。 ・ポリ容器のキャップを外す。 ※産業用廃棄物を運搬する車両の表示および、書面の備え付け（携帯）が義務付けられました。詳細はお問い合わせください。

- その他 ・ドロクロ缶と不要農薬の回収は、日程が決まり次第お知らせします。